令和６年１１月１５日

保護者各位

石狩市立生振小学校
校　長　　田中　亮

令和６年度全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

秋冷の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜びを申し上げます。日ごろより本校の学校教育推進に対しまして格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

さて、今年度４月に６年生を対象に実施された令和６年度全国学力・学習状況調査についての結果をお知らせいたします。

なお、本調査の結果につきましては児童や学級、学校としての学力の全てを表すものではないことを申し添えます。

１　国語と算数の調査結果について

【国　語】・・・全国平均と比べ「高い」です。（昨年度は「やや高い」）

学習指導要領の内容を全国平均と比べると、
・知識及び技能「言葉の特徴や使い方に関する事項」・・・「相当高い」
・知識及び技能「情報の扱い方に関する事項」・・・「同様」
・知識及び技能「我が国の言語文化に関する事項」・・・「**相当低い**」
・「話すこと・聞くこと」・・・「やや高い」
・「書くこと」・・・「相当高い」
・「読むこと」・・・「同様」

〈　成果　正答率が全国平均よりも高かった問題　〉

○「話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができるかどうかみる問題」が全国よりかなり高い正答率でした。　１二（２）

○「登場人物の相互間関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかみる問題」が全国よりかなり高い正答率でした。　３二（１）

〈　課題　正答率が全国平均よりも低かった問題　〉

●「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかみる問題」が全国平均と比べて課題が見られました。　３三

●「日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気づくことができるかどうかみる問題」が全国平均と比べて課題が見られました。　３四

【算　数】・・・全国平均と比べ「ほぼ同様（上位)」です。(昨年度は「相当低い」)

学習指導要領の領域を全国平均と比べると、
・「数と計算」・・・「同様」
・「図形」・・・「やや低い」
・「変化と関係」・・・「高い」
・「データの活用」・・・「やや高い」

〈　成果　正答率が全国平均よりも高かった問題　〉

○「数量の関係を、□を用いた式に表すことができるかについて問う問題」が全国より高い正答率でした。　１（２）

○「円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができるかどうかをみる問題」が全国より高い正答率でした。　５（１）

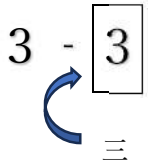
〈　課題　正答率が全国平均よりも低かった問題　〉

●「角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題」が全国平均と比べて課題が見られました。　３（４）

●「示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる問題」が全国と比べて課題が見られました。　５（４）

２　課題の見られた問題について

【国語で課題が見られた設問】



原さんは、島さんと話し合ったあと、【物語】を読んで、心に残ったことところとその理由をまとめています。**あなたなら**【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

＜条件＞

① 心に残ったところと、心に残った理由を書くこと。

② 【物語】から言葉や文を取り上げて書くこと。

③ ６０字以上、１００字以内にまとめて書くこと。

【正答】

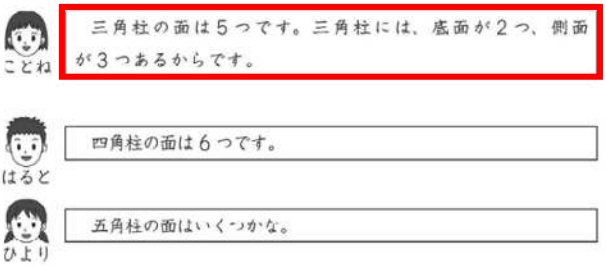
オニグモじいさんが、ハエの女の子に、自分が食べているのは朝日のひかりだと話したところ【条件②】が心に残りました。その理由は、すなおな女の子をおどろかせず、安全に帰そうとするやさしさ が表れていると思ったから【条件①】です。

【今後に向けて】

- 無回答か条件が１つ以上抜けている誤答が複数見られましたので、書き終わった後に全ての条件が入っているか自分自身で確認できるように指導していきます。
- 読み取る力をつけるために「音読」と「読書」に取り組む時間を増やしていきます。
- 書く力を高めるために日常的に字数を指定したり、本文から引用する語句を指定したりする学習場面を充実させていきます。

【算数で課題が見られた設問】　3 - 4

(4)　ことねさんたちは、角柱の面の数について考えています。



五角柱の面はいくつですか。答えを書きましょう。
また、そのわけを、底面と側面がそれぞれいくつあるのかがわかるようにして、言葉と数を使って書きましょう。
そのとき、「底面」、「側面」の２つの言葉を使いましょう。

＜正答の条件＞
① 底面が二つあることを表す言葉と数
② 側面が五つあることを表す言葉と数

【正答】
五角柱の面…７つ
（例）五角柱には、底面が２つ、側面が５つあるからです。

【今後に向けて】
- 面、底面、側面など算数的用語を正しく理解できるように指導していきます。
- 問題文の中に、答え方の例（赤い太枠の中）がある問題もあるので、問題文から答え方の手がかりを探す経験を充実させていきます。
- 指定された言葉を使って文章で書き表すことに課題が見られましたので、言葉による説明だけではなくノートに説明を書く活動を充実させていきます。

5 - 4

(4)　こうたさんは、３月19日の卒業式の日までに、桜が開花してほしいと思っています。
桜がいつ開花するか知りたいと思い、桜の開花予想日について調べたところ、下のような**桜の開花予想日の求め方**を見つけました。

桜の開花予想日の求め方

① ２月１日から、毎日の最高気温の数値をたしていく。
② 毎日の最高気温の数値をたした答えが、初めて600以上になったその日を桜の開花予想日とする。

こうた：今日は３月16日です。桜はまだ開花していません。

桜の開花予想日の求め方の①のように計算すると、３月15日までの最高気温の数値をたした答えは549でした。
３月16日からの最高気温の予報は、下の表のとおりです。

３月16日から３月19日までの最高気温の予報

日にち	３月16日	３月17日	３月18日	３月19日
最高気温（度）	21	20	15	14

こうたさんは、３月16日以降は予報どおりの最高気温になるとして、**桜の開花予想日の求め方**を使って、桜の開花予想日を求めました。
桜の開花予想日について、次のようにまとめることができます。

最高気温の数値をたしていった答えが、初めて600以上になる式は、㋐　だから、
桜の開花予想日は３月　㋑　日です。

上の㋐に入る式を、下の **1** から **4** までの中から１つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の㋑に入る数を書きましょう。

1　549 + 21
2　549 + 21 + 20
3　549 + 21 + 20 + 15
4　549 + 21 + 20 + 15 + 14

【正答】
ウ　３⇒５４９＋２１＋２０＋１５
エ　１８

【今後に向けて】

- 文章量が多く、表や図が組み合った問題を苦手とする児童が多いので、教科書の活用問題に時間をかけて指導していきます。
- 問題から分かることを積み上げて論理的に答えを導き出す問題を苦手としている児童が多いので、国語などの他の教科でも論理的に考える場面を充実させていきます。

3　児童質問紙の調査結果について

【学習習慣、学習環境について】

・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることできる」と回答した児童の割合が全国平均よりも相当高い傾向です。
・「平日、１日あたり１時間以上勉強する」と回答した児童の割合が全国平均よりも相当高い傾向です。

【挑戦心、達成心、自己有用感】

・「学校に行くのは楽しい」と回答した児童の割合が全国平均よりも**相当低い**傾向です。
・「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童の割合は全国平均と比べて相当高い傾向です。

【基本的生活習慣等】

・「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と回答した児童の割合が全国平均よりも**相当低い**傾向です。
・「朝食を毎朝食べている」と回答した児童の割合は全国平均と比べて相当高い傾向です。
・「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と回答した児童の割合は全国平均と比べてほぼ同様（上位）です。

【主体的・対話的で深い学び　及び　ＩＣＴを活用した学習状況について】

・「授業において、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた」と回答した児童は、全国平均と比べて高い傾向です。
・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童の割合が全国平均と比べて**ほぼ同様（上位）**です。
・「授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか」では、全国平均と比べ使用頻度が**相当低い**傾向です。

4　改善の取り組みについて

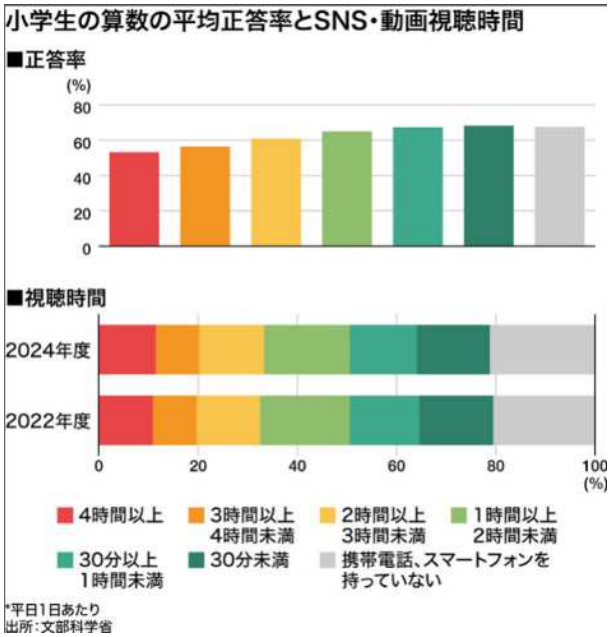
今後の学力向上と安心できる居場所づくりに向けて以下のように取り組んでいきます。

① 学習のきまり（生振の５箇条）を全クラスで定着させ、学習環境を整えます。
② AI ドリルやコラボノートを活用し、協働的な学習や個別最適な学習を実現していきます。
③ 本校の研究内容との関連を図り、児童が主体的に学び、対話的で深い学びとなるように、授業改善を図ります。
④ 学力向上講師によるティームティーチングや個別指導、一人一台端末の活用など、個別最適な学びの環境を整えていきます。
⑤ 朝の「基礎学力向上の時間」を通して、国語や算数の基礎学力向上と ICT 活用スキルの向上を進めます。
⑥ 家庭学習強化週間の設定や家庭学習の手引きの活用など、家庭と連携した取り組みを進めます。
⑦ いじめアンケートや QU を活用して児童一人ひとりの状況を把握し、スクールカウンセラーとも連携しながら児童のケアをしていきます。

＊学校と致しましては、一人一人の児童の学力向上に向けて取り組んでまいりますが、家庭でも以下のようなことについてよろしくお願いいたします。

ご家庭へのご協力のお願い

◇規則正しい生活習慣を確立するために
　〇毎朝、朝食をとってから学校へ登校させましょう。
　〇決まった時間に就寝・起床し、睡眠時間をしっかり確保させましょう。
◇家庭学習の時間を確保するために
　〇テレビやゲームをする時間など、家庭でのルールをつくりましょう。
　〇学習する時刻を決めましょう。
　〇学習する時間は学年×１０分＋１０分が目安です。



【参考資料】（出典：文部科学省）

今年度の全国学力学習状況調査の正答率と SNS 利用と動画視聴時間の関係性を分析した結果、利用時間が「４時間以上」と「３０分未満」のグループでは、正答率が「１６ポイント」差が出たことが分かりました。

スマートフォンを使用する時間が長いと勉強時間が削られますし、手元にスマートフォンを置くと通知の度に集中が途切れ、勉強の効率も悪くなります。ご家庭でも使用時間と置き場所について話し合う際の参考にして頂ければと思います。